

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人 花木庭会

目 次

I	基本理念	1
II	令和5年度基本方針	1
III	令和5年度事業目標	1
IV	概要	2
V	評議員会、理事会の開催状況	8
VI	行事実績(令和5年度)	9
VII	ボランティアの受入状況(令和5年度)	9
VIII	職員配置の状況	10
IX	利用者の状況	10
X	利用者の日課	12
X I	利用者の通院状況	12
X II	苦情解決	13
X III	研修会の参加状況	13
X IV	事業報告の附属明細書	14

I 基本理念

- 1 障害者の人権と尊厳を守り、自立と社会参加の支援を行う。
- 2 福祉事業を通じて地域社会の発展に貢献する。
- 3 ご利用者様、職員、法人の三者全ての安心と満足度を高める。

II 令和5年度基本方針

- 1 ご利用者様へ、常に真心を込めて安心と安全を提供する。
- 2 地域との交流を活発にし、地域から必要とされる施設づくりを目指す。
- 3 職員の自己研鑽による能力アップに努める。
- 4 技術力の向上により、よりよいサービスに徹する。
- 5 社会的ルールの遵守(コンプライアンス)を徹底する。

III 令和5年度事業目標

1 生活相談

- ① 利用者の人権尊重、権利擁護。
- ② サービスの質の向上。
- ③ 相談支援事業を通じて地域社会へ貢献する。
- ④ 入所待機者の確保

2 生活支援

- ① 利用者の個人ニーズに応じた個別支援に取り組む。
- ② 職員としての質の向上。
 - ・利用者寄り添い、相手の立場に立った思いやりのある言動を心がける。
 - ・技術の向上及び障害の特性に応じた心のサポートを学ぶ。
 - ・職員間の連携を図り、安心・安全な支援を提供する。

3 医療

- ① 各部署との連携。
- ② 早期発見、早期治療。
- ③ 感染予防に努める。

4 総務

- ① 職員研修によりスキルアップを図る。
- ② 防災訓練や行事等をとおして、地域とのつながりを密にする。
- ③ 安全運転の励行。
- ④ 情報管理の徹底に努める。

5 給食

- ① 衛生管理を重点的に行う。
- ② 利用者の個人ニーズに応じた栄養ケア支援に努める。
- ③ 調理技術の向上(高齢化、重度化対応)。
- ④ 季節の行事を大事にし、手作りで家庭的な食事を提供する。

IV 概要

令和5年度は、花木庭会の法人運営においては、評議員会は2回開催され、決算報告、事業計画、収支予算及び役員改選など7議案について審議がなされた。

理事会は4回開催され、清掃業務委託や男子トイレ改修工事の入札、規程の改正、理事長の選定など23議案について審議がなされた。

監事会は5月に定例監査が実施された。また、評議員会、理事会及び佐賀県の実地指導・一般監査に出席された。

インターネットによる公表は、定款、役員名簿、評議員名簿、役員等報酬規程及び5年間の決算書を当法人のホームページに掲載している。また、現況報告書、計算書類等及び事業所情報を社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムに届出し情報公開をしている。

施設・設備の整備では、開設後37年が経過し、給排水管の更新が必要となり、今年度は、男子トイレ、男子洗面所の改修工事を行った。給排水管及び内装設備は一新され、トイレの床はドライ式に変更された。

軽トラックは、平成13年度に購入し使用していたが、佐賀県共同募金会の赤い羽根共同募金の配分を受け更新した。

障害者総合支援法対応ソフトは、利用者管理、計画相談、個別支援計画、支援記録及び請求ができるソフトで、従来型でなくクラウド環境で保存、共有できるものを使用期間5年で整備し、7月から供用を開始した。

食器洗浄機は平成13年度から使用していたが、年数経過とともに故障が多くなったため、全自動軟水器とセットで更新し、業務用冷蔵庫は、平成26年度から使用していたが、修理に多くの費用が掛かるため更新した。

オートクレーブは、医療器具を高温、高圧で滅菌するものであるが、高圧状態を保てなくなり更新した。

カラオケシステムは、14年が経過し今年度末で使用できなくなるため更新した。

職員配置の状況としては、年間を通して全体の平均配置数が44.7人（常勤換算43.3人）と前年度に対して平均配置数で3.6人（常勤換算2.8人）減少し、生活支援員の平均配置数は27.0人（常勤換算25.7人）で前年度と比較すると、平均配置数が1.7人（常勤換算1.8人）減少した。

年度内に7人の採用を行うことができたが、退職者が9人となり、年度末での職員数は前年度の48人から46人となった。

全職員のチームワークにより利用者へのサービス提供を行うことができた。

研修については、施設内研修を定期的に行い、職員の資質向上に努めた。また、施設外研修として、県内の研修会や、全国大会、九州大会にも参加し、他の施設職員との交流を深めることができた。

5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったが、施設では年間を通して消毒や換気の徹底を行った。利用者や職員の体調の変化にもいち早く気づけるようにと検温チェックも徹底した。

8月に施設内で入所者5人、職員5人、合計10人が新型コロナウイルス感染症に感染する事例が発生した。8月7日の職員の発症を皮切りに8月18日までに合計10人の発症が確認され、クラスターとなってしまった。杵藤保健福祉事務所の指示を仰ぎながら対応が適切に行えるよう取り組んだ。主に職員間では休憩室での接触があった者、利用者間では同室で過ごす者同士が感染しているという状況がみられた。施設内をエリア分けし、感染予防の対策を講じての支援であったが、24時間体制で感染エリアに専属の職員を配置することに大変苦慮した。専属職員の配置では、他の利用者への支援に影響がないようにと職種を超えて支援に入り、何とか収束までこぎつけた。大変な状況の中、全職員が協力し、勤務の調整や時間外勤務での対応を行いながら事業を継続することができた。8月29日の朝をもって完全解除となった。その後、施設内での感染は発生していない。

新型コロナウイルスワクチン接種については、6回目接種を5月から、7回目接種を10月から実施し、利用者・職員ともに施設での予防接種を希望した人は終了することができた。

通所事業、短期入所、面会については、感染防止対策のため、8月14日から31日まで18日間の受け入れを中止した。

利用者が楽しみにされている園外訓練は7月25日から実施したが、ほどなく新型コロナ感染症の施設内発生もあって、8月14日から31日まで中断となった。その後、9月から再開し、鹿島市内で短時間ではあったが、実施することができた。初詣は1月9日から25日まで祐徳稲荷神社へ参拝を行った。桜の花見は3月28、29日に庭木ダム周辺への車中見学で行った。外出行事を取り入れたことにより利用者には大変喜ばれた。

利用者の外出は年間を通して受診等を除き不要不急の外出を禁止としたが、冠婚葬祭などは外出可能となった。また、夏季・冬季帰省については、中止とした。

面会は、面会者の範囲や人数、面会時間の制限を設け、前日までに予約を受けて感染対策をしながら実施してきた。

ボランティアの受け入れは、利用者との触れ合いはできないため、利用者と関わらない部分での受け入れのみとした。

1 生活相談

利用者の権利擁護、人権尊重の観点から日々の支援において、日頃から相談内容を傾聴し、寄り添い支援することを心掛けた。課題が見つかった時点で速やかに改善に努めた。

利用者は、重度化の傾向にあり、介護の度合いが高くなった利用者については、障害支援区分も高くなり、きめ細やかなサービスが必要となり、支援内容を変更することがあった。

入所利用者は、年度中に3人に入所してもらうことができたが、退所者が2人となったため、年度末では48人とどまった。

入所待機者については、行政機関や医療機関等との連携を図り、入所待機者の確保に努めたが、入所待機者の中から入所に繋がったため、年度末での待機者は13人で前年度と変わらなかった。

2 計画相談

相談支援センター鹿島療育園では、佐賀県の南西部地区を中心に計画相談を行ない、障害種別による制限はなく、身体・知的・精神すべてにおいて対応した。

ご本人やご家族のニーズに応じたサービス提供に努め、住み慣れた自宅・地域において安心した生活が送れるように支援した。

杵藤地区自立支援協議会・相談支援部会等の会議に参加し、相談窓口からの相談件数や課題

等、在宅障害者の情報を共有した。

市町より依頼があった計画相談については、速やかに対応し、令和5年度中に、サービス等利用計画は入所者15件、在宅者26件の合計41件であり、その内、新規での利用計画の策定は4件であった。また、利用計画に沿ってサービスが適切に提供されていることを定期的に確認するモニタリング（継続サービス利用支援）は177件で前年度より19件増加した。なお、障害児サービス等利用計画の策定実績はなかった。

3 生活支援

入所者の延べ利用者数は17,150人で前年度の15,994人から1,156人増加した。

これは、年間の利用者数が増加したことによるもので、稼働率は90.1%となった。

事業目標である利用者の個人ニーズに応じた個別支援への取り組みについては、利用者の主体性を尊重し、個人やその家族が望まれている目標を個別支援計画に反映し日々の生活の中で取り組んでいる。個人のニーズに応じるためには計画上のみの支援ではなく、利用者の小さな思いにも耳を傾け、常に情報の共有を継続している。現状に課題点が見つければ振り返り、改善、その後の対応策へと繋げて支援の充実を図ってきた。

職員の質の向上については、利用者の高齢化・重度化が進む中、生活支援員の中に認定特定行為従事者（喀痰吸引研修課程修了者）が現在4人在籍し、医療的ケアが求められる支援への対応にも安心を得られてきた。

これからも、利用者に寄り添うことで安心を得ていただけるよう、言葉を越えた支援を提供していきたい。

4 生活介護（日中のみ）

通所事業の年間の延べ利用者数は104人で前年度の175人から71人減少し、一日当たりの利用者数の平均は、0.4人となり、定員4人での稼働率は9.6%となった。年度末の実人員は3人と前年度と同じであった。

通所利用者の支援においては、入所利用者とはほぼ同じ条件のもとで支援を展開し、ご本人、ご家族のニーズに応じた個別支援計画を策定し、サービスの向上に努めてきた。

ご家族とは送迎のわずかな時間に顔を合わせ、言葉を交わすことによって情報が共有され、信頼関係が構築されていたことにより、緊急時の対応も理解と協力を得ることができた。

5 短期入所

年度内の利用者の実人員は6人で合わせて144日の利用で前年度の175日より31日減少となった。利用者のうち1人は入所利用者となられている。

個別支援計画の策定は必要ないものの、利用者の希望される支援については、主体性を尊重した支援を行った。

6 機能回復訓練

医師及び理学療法士の指示を受け、個別支援計画への取り組みへと繋げ、現状の身体機能、生活能力を維持し日常生活を営むための訓練として取り組んでいる。

訓練の実施状況は、職員数が少ないときでもグループを小規模化することや、居室にて行う事により、訓練が実施できるような環境を確保するように努めた。

今後も参加率の向上を目標に利用者の健康維持、機能維持に努めていきたい。

7 サークル活動

○手芸サークル

新型コロナ感染症の拡大により8月は中止となったが、その他の月は実施することができた。外部講師による押し花を年8回（5・6・7・9・10・11・2・3月）職員による活動を年3回（4・12・1月）に行った。

押し花は毎回16人程の参加があり、講師や職員の介助を受けながら四季折々の押し花を使い、希望に沿った様々な作品を制作、完成された作品を手に取り満足そうにされている様子が伺えた。職員による活動を年3回に実施し「塗り絵」「鯉のぼり飾り」「クリスマスツリー飾り」の制作を行った。各回10人程の参加があり、完成した作品を居室に飾られていた。

作品は手芸サークルの作品として園内での展示や作品展への出展も行っている。

○音楽・カラオケサークル

外部講師による音楽サークルは新型コロナ感染症の拡大により8月は中止となったが、その他の月は実施することが出来た。

利用者がリクエストされた曲を外部講師にピアノやギターで演奏してもらい、参加者全員で歌うことにより歌うことの楽しさを感じられている。毎回17人程の利用者が参加された。

カラオケサークルは新型コロナ感染症の拡大により8月は中止となったが、その他の月は、月2回実施することができた。

歌う事が好きな利用者の参加で、毎回17人程の利用者が参加されている。

好きな歌を歌ったり、他の利用者の歌に合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりするなど和やかな雰囲気の中で実施できており、利用者の楽しみ、気分転換にも繋がっている。

○園芸サークル

園芸サークルとしての活動は、天候の影響や業務の都合により活動することができなかった。運動広場周辺の花壇は、車椅子での作業ができるように高めになっているため、園芸の好きな利用者が、花や球根の植え込みや除草等余暇時間に取り組み、また支援員も定期的に除草作業や花壇の手入れを一緒に行ったことで、色とりどりの花々が園庭を訪れた人の目を楽しませてくれた。

○生活サークル

新型コロナ感染症の拡大により8月は中止となったが、その他の月は実施することができ各月17人程の利用者が参加された。ゲーム・習字・紙芝居・貼り絵等を行い、またポッチャを計画し実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により外出や外部との交流が制限されている中で、活動内容を通して利用者間の交流が図られ、また大きな声を出したり、体を動かしたりと楽しんで参加されている様子が伺え、利用者のストレスの軽減につながっていると思われる。

利用者が楽しんで参加していただけるよう活動内容を計画していきたい。

○編集サークル

年4回発行している「はなこぼ新聞」では、利用者の生活状況や行事等の様子、利用者の感想等をご家族や関係団体等にお知らせすることができた。より良い「はなこぼ新聞」になるよう、担当職員や利用者が役割分担しコミュニケーションを図りながら取り組んだ。

○フラワーアレンジを楽しむ会

6月・12月に実施、各回20人程の利用者が参加された。元職員のボランティアを講師として実施し、利用者に花材を自由に選んでもらい、花を入れる位置を確認しながら生け、また講師のアドバイスを受け作品が出来上がっていくことに利用者も満足されていた。

講師の都合により、令和5年度をもって活動終了となる。

○ボッチャサークル

今年度より奇数月（5・7・9・11・1・3月）に実施した。

ボッチャの公式ルールに従い実施、各回 22 人程の利用者が参加された。利用者の方がルールを理解し、良いプレイが出来た時などは、皆で拍手したり喜んだり笑顔で競技を楽しまれた。

8 苦情相談

随時受付による苦情の申し出が 4 件であった。内容は、支援での不手際、配慮不足など職員に関することが 1 件、同室者の独り事など利用者に関することが 3 件あった。苦情については、概ねその場で回答し、検討が必要なものについては、翌月の利用者懇談会において回答を行った。

今後も苦情について傾聴し、速やかな解決策が望まれる。また、更なる相談サービス提供者としての職員の資質の向上が求められる。利用者間の苦情については相互理解が必要であり、苦情が軽減するような職員のメンタル面での支援も必要と思われる。

9 医療

利用者の延入院日数は、515 日で前年度の 418 日より 97 日増加した。これは 1 ヶ月以上の入院者が前年度の 5 人から 4 人へと減少したものの、1 人の入院期間の長期化が大きいと思われる。

退所者は 3 人で、死亡による退所が 1 人、入院治療継続による退所が 2 人となった。

通院は、年間 1,119 人で前年度より 6 人増加した。内訳は、てらお総合歯科クリニックが 392 人と一番多く、次いで内科、泌尿器科、精神科、外科が多く、通院に多大の時間を要している状況である。

既往歴で再発する病名では、褥瘡、腎臓疾患、皮膚疾患が多くあった。また、精神疾患による通院者は 10 人を数える。

泌尿器科受診者は 10 人となり、うちバルーン留置者が 7 人、自己導尿が 2 人、内服治療中が 3 名となっている。

高齢化に伴い嚥下機能の低下がみられるようになり、喀痰吸引が必要な者は 4 人となっている。食事中のムセ・咳込みなど嚥下力の低下もみられ、水分トロミ・刻み食・ミキサー食の提供者も増加し食事介助者も増加傾向である。誤嚥リスクが高い利用者が増えているため、必要に応じ嚥下検査を行い対応している。

障害の重度化に伴い、発症から悪化するまでのペースも早く、また、本人の訴えも乏しいこともあり、日頃の様子との比較や、健康チェックを行うことで、速やかに対応した。

協力病院として犬塚病院、納富病院、織田病院（ようこクリニック）、嬉野温泉病院、嬉野医療センター、高木眼科、下河辺眼科へお願いすることが多いが、病院では、コミュニケーションがとりにくく、また、介護の度合いで入院できず通院治療となるケースも見受けられた。

11 月にはインフルエンザ予防接種を行い、罹患者は発生せずに済んだ。

今後も、囑託医や他職種間との連携を密に利用者への支援を行っていきたい。

10 給食

利用者の高齢化・重度化傾向により、よりきめ細やかなサポートが必要となる中で、医療・生活支援・給食が連携して一人ひとりに応じた食事形態で提供し、栄養ケアマネジメントを策定し、生活機能の維持改善の支援を行った。

食事形態では、主食は、ご飯・二炊き・全粥・全粥ミキサー食の4段階とし、副食の切り方は、普通・一口大切り・荒刻み食・刻み食・ミキサー食に分けて提供した。刻み食で誤嚥リスクがある方には、主食以外をあんかけで提供した。

また、療養食として低脂肪食・減塩食・減塩低脂肪食・糖尿病食・カリウム制限食に取り組み、低ナトリウム血症の方には毎食1g食塩、褥瘡悪化防止の方には 毎食蛋白強化剤を給食で提供し、利用者一人ひとりの身体状況に合った食事内容で提供した。

食事提供数は、全利用者合わせて年間51,796食で、毎食の平均では47.2食となった。

嗜好調査や給食座談会を毎年行い、調査結果を基に主食、主菜で嫌いな食材やアレルギー食品は、代替食にて提供することで、満足度を上げ、食事摂取量向上につなげ、体力維持・機能低下防止に努めてきた。また、限られた予算内で季節の物や手作りデザートを提供し、利用者からも好評を得ている。コロナ禍で外出できない利用者に、楽しんで食べてもらえるように、食堂の飾り付けを季節ごとに行っている。

安全面では「食中毒防止」「異物混入防止」等の衛生管理を徹底し、手洗い消毒と生野菜の処理、機械器具のアルコール消毒等の基本的対応を最重要ポイントとしてあげ、冬だけでなく夏場にも発生するようになった「ノロウイルス防止」など、1年間を通じて「食中毒防止」「ウイルスの感染予防」に努めることで、衛生管理の目標を達成し、安全・安心に食事摂取をしてもらうことができた。

11 防災

今年度の防災訓練は、感染拡大防止のため、8月が実施できず、年間11回の実施となった。

防災訓練では、火災時に必要な初期行動及び利用者の安全な避難誘導を職員が確実に実施できるよう繰り返し行っている。特に夜間は勤務する職員が3人となるため、職員間の連携が求められる、より速やかで安全な避難誘導ができることが重要となる。年間で、夜間を想定しての訓練を9回実施し、2回は昼間を想定しての訓練を行った。今年度実施した防災訓練での避難完了までに要した時間は、夜間想定で平均19分6秒、昼間想定で平均7分3秒だった。

鹿島消防署等と共同訓練である総合防災訓練については感染拡大防止の観点から令和2年度に実施して以降実施できていなかったが、今年度は10月に実施することができた。

例年実施してきた全職員を対象とした夜間の招集訓練については、昨年度に引き続き実施できなかった。少ない人員で職務を遂行する職員の負担を考慮し、開催時期を模索していたが、状況が改善せず、実施に至らなかった。

年々、利用者の方も加齢等による身体機能の低下がみられ、重度化が進んでおり、皆、避難誘導の際に何らかの支援を必要とする方が多い。利用者の身体状況に合った誘導方法を正しく把握しておくことも大切になってくるため、怪我や事故等が無いように安全で確実な避難誘導ができるよう、今後も引き続き訓練を行っていく。

V 評議員会、理事会の開催状況

<評議員会>

第1回

開催日	令和5年6月26日
議案	令和4年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書及び財産目録)(案)の承認について 令和5年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 役員の任期満了による改選について

第2回

開催日	令和6年3月25日
議案	令和5年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和5年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和6年度事業計画書(案)の承認について 令和6年度資金収支予算内訳表(案)の承認について

<理事会>

第1回

開催日	令和5年5月29日
議案	令和4年度事業報告書(案)の承認について 令和4年度決算報告書(貸借対照表、収支計算書、貸借対照表・収支計算書の附属明細書及び財産目録)(案)の承認について 佐賀県共同募金会からの配分事業の配分(案)の承認について 令和5年度鹿島療育園拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 役員の任期満了による改選に係る役員候補者(案)の承認について 施設長の退任及び選任について 評議員の辞任に伴う評議員候補者(案)の承認について 定時評議員会の開催(案)の承認について

第2回

開催日	令和5年6月26日
議案	理事長の選定について 業務執行理事の選定について 第三者委員の選任(案)の承認について 鹿島療育園男子トイレ改修工事に係る入札(案)の承認について

第3回

開催日	令和5年8月4日
議案	鹿島療育園男子トイレ改修工事に係る入札の変更(案)の承認について

第4回

開催日	令和6年3月15日
議案	給与規程改正(案)の承認について 令和5年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 令和5年度鹿島療育園拠点区分第2次資金収支補正予算内訳表(案)の承認について 運営規程改正(案)の承認について 役員等賠償責任保険の契約(案)の承認について 賞与引当金の計上(案)の承認について 令和6年度事業計画書(案)の承認について 令和6年度資金収支予算内訳表(案)の承認について 鹿島療育園清掃業務委託に係る入札(案)の承認について 評議員会の開催(案)の承認について

VI 行事实績（令和5年度）

月 日	行 事 名	摘 要
4月 5日	不在者投票	佐賀県議会議員選挙
4月 15日	家族会役員会	事業報告、計画等
4月 19日	不在者投票	鹿島市議会議員選挙、大町町議会議員選挙
4月 26日	利用者健康診断	血液検査、心電図、前立腺がん検査、胸部レントゲン
5月 14日	家族会総会	事業報告・計画等
5月 26日	地域との交流会	施設概要及び事業計画等の説明
5月 31日	ランチパーティ	セレクトメニュー、スライドショー
6月 12日	安全祈願祭	安全祈願
6月 21日	健康教室	病気に対する意識向上について
6月 21日	能古見小学校5年生との交流会	施設概要説明
9月 13日	健康教室	病気に対する意識向上について
9月 25日	秋祭り	屋台メニュー、お楽しみ抽選会
10月 2日 ~ 10月 11日	利用者健康診断	尿検査
10月 27日	介護者教室	障害者の虐待防止について
11月 13日	追悼会	物故者の供養
12月 6日	忘年会	忘年会メニュー
12月 7日 ~ 12月 17日	佐賀県障がい者文化芸術作品展	作品 11点出展
12月 13日	福祉講演会	障害者差別解消法について
12月 25日	クリスマス会	クリスマス会メニュー
1月 9日 ~ 1月 25日	初詣	祐徳稲荷神社
2月 26日	ボランティア団体等との交流会	事業報告、計画等
3月 28日 ・ 3月 29日	ドライブ	庭木ダム周辺の桜の花見（車中見学）

VII ボランティアの受入状況（令和5年度）

月 日	団 体 名	摘 要
随時（年8回）	押し花	押花の作製支援
随時（年4回）	鹿島市婦人ボランティア五五会	施設周辺の清掃、花紙作製、車椅子清掃
6月 4日 ・ 12月 3日	フラワーアレンジを楽しむ会	フラワーアレンジメント
7月 24日	楠風会さくら会	車椅子、椅子の清掃

Ⅷ 職員配置の状況

区分	施設長	事務長	生活相談員	看護師	生活支援員	事務員	栄養士	調理員	合計	
令和4年度末職員数	1人	1人	3人	4人	29人	3人	3人	4人	48人	
うち、臨時職員				(1人)	(8人)				(9人)	
期中	増加数		1人	1人	0人	0人	6人	0人	1人	9人
	うち、臨時職員						(2人)		(1人)	(3人)
	減少数		1人	1人	0人	0人	7人	1人	1人	11人
	うち、臨時職員						(3人)			(3人)
令和5年度末職員数	1人	1人	3人	4人	28人	2人	2人	5人	46人	
うち、臨時職員				(1人)	(7人)			(1人)	(9人)	

Ⅷ 利用者の状況

【入所者】

(1) 出身地別利用状況(令和5年度)

区分	佐賀市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	玄海町	有田町	大町	江北町	白石町	太良町	大村市	大分市	合計
男	4人	1人	6人	6人	2人	3人	1人	1人	1人	0人	2人	2人	1人	0人	30人 ①
女	0人	1人	1人 ①	6人	0人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	1人	0人	0人	18人 ①
計	4人	2人	7人 ①	12人	2人	7人	1人	2人	2人	1人	4人	3人	1人	0人 ①	48人 ②

※○印は退園者数

(2) 月別在園者の状況(令和5年度)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
月初利用者数		47人	47人	47人	48人	48人	48人	49人	49人	49人	49人	48人	48人	
入園者数		0人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人
退園者数		0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	2人
月末利用者数		47人	47人	48人	48人	48人	49人	49人	49人	49人	48人	48人	48人	

(3) 年齢構成表

令和6年3月31日現在

区分	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	70歳 ～ 79歳	80歳 以上	合計	最 小	最 高	平 均
男	0人	0人	0人	2人	7人	13人	7人	1人	30人	45才	84才	64.0才
女	0人	0人	0人	1人	4人	9人	2人	2人	18人	47才	92才	64.9才
計	0人	0人	0人	3人	11人	22人	9人	3人	48人			64.4才

(4) 在所期間の状況

性別	期間	1年以上	3年以上	5年以上	10年以上	15年以上	計	1人当り 平均 在所期間
	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	15年未満			
男	1人	8人	0人	4人	4人	13人	30人	14年 8月
女	2人	4人	1人	3人	2人	6人	18人	13年 7月
計	3人	12人	1人	7人	6人	19人	48人	14年 3月

(5) 障害原因別

障害原因	事 故				疾 病			合計 ① + ②
	交 通 事 故	労 働 災 害	そ の 他 の 事 故	小 計 ①	先 天 性 の 疾 病	後 天 性 の 疾 病	小 計 ②	
男	3	2	5	10	10	10	20	30
女	0	0	0	0	15	3	18	18
計	3	2	5	10	25	13	38	48

(6) 病症類別

属性	疾病・ 原疾患	主たる病症類・原疾患										前 年 度 合 計	
		脳 性 マ ヒ	脊 髄 損 傷	頸 髄 損 傷	胸 腰 髄 損 傷	小 計	脊 髄 マ ヒ	脳 血 管 障 害 後 遺 症	頭 部 外 傷 後 遺 症	精 神 遅 滞	そ の 他 の 難 病		そ の 他 の 疾 病
性別	男性	7	5	1	6	0	5	3	0	2	7	30	30
	女性	10	0	0	0	0	2	0	1	0	5	18	17
	合計	17	5	1	6	0	7	3	1	2	12	48	47
障害 支援 区分	区分6	14	5	1	6	0	5	2	0	2	4	33	33
	区分5	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4	8	8
	区分4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4	6	4
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	17	5	1	6	0	7	3	1	2	12	48	47

【通所者】

(1) 出身地別利用状況

区分	鹿島市	白石町
男	1人	1人
女	1人	0人
計	2人	1人

【短期入所者】

(1) 出身地別利用契約状況

区分	鹿島市	白石町	太良町
男	1人	3人	1人
女	1人	0人	1人
計	2人	3人	2人

X 利用者の日課

7:00	起床・洗面
8:15	朝食 健康チェック 整理整頓 ラジオ体操
9:00	入浴 機能回復訓練 サークル活動 行事
12:00	昼食
14:00	入浴 自由時間
17:15	夕食 自由時間 娯楽時間
20:00	就寝準備
21:30	消灯

X I 利用者の通院状況

	内 科	外 科	精 神 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	訪 問 歯 科	皮 膚 科 ※	婦 人 科	泌 尿 器 科	救 急 外 来 等	そ の 他	計
4月	15人	10人	13人	1人	2人	0人	44人	7人	0人	10人	0人	0人	102人
5月	12人	9人	12人	3人	0人	0人	44人	6人	0人	90人	0人	0人	176人
6月	19人	11人	14人	5人	0人	0人	34人	1人	0人	10人	0人	0人	94人
7月	7人	11人	3人	1人	2人	0人	27人	2人	0人	10人	0人	0人	63人
8月	18人	4人	0人	1人	0人	0人	22人	2人	0人	7人	0人	0人	54人
9月	17人	10人	11人	4人	0人	0人	35人	3人	0人	7人	0人	0人	87人
10月	50人	14人	12人	1人	2人	0人	23人	7人	0人	6人	0人	0人	115人
11月	14人	7人	14人	4人	0人	0人	35人	2人	0人	16人	0人	0人	92人
12月	15人	11人	14人	4人	1人	0人	34人	4人	0人	11人	0人	0人	94人
1月	13人	11人	13人	1人	1人	0人	33人	8人	0人	7人	0人	0人	87人
2月	11人	9人	12人	3人	0人	0人	28人	8人	0人	7人	0人	0人	78人
3月	9人	6人	12人	1人	0人	0人	33人	7人	0人	9人	0人	0人	77人
計	200人	113人	130人	29人	8人	0人	392人	57人	0人	190人	0人	0人	1,119人

※ 皮膚科はオンライン受診者18人を含む

前年度実績

計	159人	122人	141人	29人	12人	0人	414人	74人	0人	109人	8人	45人	1,113人
---	------	------	------	-----	-----	----	------	-----	----	------	----	-----	--------

XII 苦情解決

苦情受付件数

	職員に関する こと	利用者に関する こと	施設に関する こと	その他	計
5年 4月	0	0	0	0	0
5月	0	1	0	0	1
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	1	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	0	1	0	0	1
6年 1月	0	1	0	0	1
2月	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0
計	1	3	0	0	4

前年度件数

計	4	2	0	0	6
---	---	---	---	---	---

XIII 研修会の参加状況

実施月	研修名	開催者・場所	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
5月	新任職員研修会	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	生活支援員	1人	2日	新任職員としての基本的知識の習得
5月	公正採用人権啓発推進研修会	鹿島公共職業安定所 武雄市	事務長	1人	1日	公正な採用選考について
6月	全国安全週間説明会	武雄労働基準監督署 鹿島市	総務課長	1人	1日	労働災害防止活動について
6月	九障協施設長・リーダー職員研修会	九州障害者支援施設協議会 熊本市	施設長 生活相談課長 総務課長	3人	2日	情勢報告ならびにこれからも共に進む九障協を目指して
6月	中堅職員研修会	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	生活支援員	1人	1日	中堅職員に求められる役割について
6月	BCP(業務継続計画)研修	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	総務課長	1人	1日	BCPの考え方や策定の背景や位置づけ及び運用について
6月	佐賀DCATネットワーク推進合同研修会	佐賀県社会福祉協議会 唐津市	生活相談係長	1人	1日	佐賀DCATとして実際の活動の流れや役割について理解を深める
6月	佐賀県社会福祉法人経営青年会総会・視察研修会	佐賀県社会福祉法人経営青年会 神埼市、白石町	生活相談係長 事務員	2人	1日	視察研修
7月	企業幹部人権・同和問題研修会	佐賀県 佐賀市	施設長	1人	1日	人権・同和問題に関する正しい認識と理解を深める
7月	全国身体障害者施設協議会研究大会	全国身体障害者施設協議会 高崎市	施設長 生活支援班長 看護師	3人	2日	持続可能な施設をめざして
7月	佐賀DCAT基礎研修	佐賀県社会福祉協議会 佐賀市	生活相談係長	1人	1日	実際の活動の流れなど理解を深める

7月	社会福祉法人主任/係長講座	全国社会福祉法人 経営者協議会 オンライン	生活支援班長	1人	1日	主任、係長に期待される役割について
7月	佐賀県経営協セミナー前期	佐賀県社会福祉協 議会 佐賀市	施設長 事務長	2人	1日	どこもかしこも人がいなくなる！ どうする社福
8月	地域福祉実践研究 セミナーinさが	地域福祉実践研究 セミナー実行委員 会 鹿島市	生活相談課長	1人	1日	地域でともに生きていくために、 未来に向かって、もう一度つながる
9月	企業トップクラス 人権・同和問題研	ハローワーク鹿島 鹿島市	事務長	1人	1日	同和問題の正しい理解のために
9月	全国労働衛生週 間説明会	武雄労働基準監督 署 鹿島市	事務長	1人	1日	改正される精神障害労働認定基 準と健康快適企業
9月	安全運転管理者 講習会	佐賀県安全運転管 理者協議会 嬉野市	事務長	1人	1日	安全運転管理について
9月	障害者虐待防止・ 権利擁護指導者 養成研修会	厚生労働省 渋谷区	生活相談係長	1人	3日	都道府県における障害者虐待の 防止や権利擁護に関する研修で 指導的役割を担う者を養成する
9月	全国社会福祉法 人経営者大会	全国社会福祉法人 経営者協議会 神戸市	理事長 施設長	2人	2日	わがまちの未来を切り拓く ～いまある”フクシ”を超えていく ために～
9月	九州身体障害児 者施設研究大会	九社連身体障害児 者施設協議会 佐賀市	施設長 事務長 生活相談課長 生活相談係長 給食班長 看護師 事務員	7人	3日	”ななコロナやおき”で共に佐賀そ う ～九州からの発信～SDGS「誰一 人取り残さない社会」の実現を目 指して～
10月	九障協サービス提 供職員研修会	九州障害者支援施 設協議会 佐賀市	生活支援員	1人	2日	モチベーションの向上 ～気づきを築き将来の可能性を 拓く～
11月	障害者福祉施設 感染症対策研修	佐賀県 小城市	看護師	1人	1日	障害者福祉施設における感染症 対策について
11月	特定給食施設栄 養管理研修会	杵藤保健福祉事務 所 オンライン	栄養士	1人	1日	高齢者の特徴を踏まえた低栄養 の予防と治療
12月	福祉サービス苦情 解決研修会	佐賀県社会福祉協 議会 オンライン	生活相談課長	1人	1日	苦情処理に必要なコミュニケー ションのポイント
12月	九州地区障がい 者相談支援事業 合同研修会	九州地区障がい者 相談支援事業合同 研修会実行委員会 長崎市	生活相談係長	1人	2日	その人らしい豊かな暮らしを目指 して 笑談支援！～あなたの笑 顔が見たいから 熱くしなやかに そして面白く～
1月	佐賀県経営協セ ミナー後期	佐賀県社会福祉法 人経営者協議会 佐賀市	理事長 施設長 事務長	3人	1日	6年度報酬改定等について
2月	地域生活支援推 進研究会議	全国身体障害者施 設協議会 千代田区	生活相談課長	1人	2日	地域共生社会実現のために、障 害者支援施設が担うべき役割を 考える
2月	社会福祉法人役 員等研修会	佐賀県社会福祉法 人経営者協議会 オンライン	事務長	1人	1日	社会福祉法人の会計不正事例に ついて
2月	九州障害者支援 施設研究大会	九州障害者支援施 設協議会 宮崎市	施設長 生活相談係長 看護師 調理員	4人	2日	新時代を迎えた福祉の未来につ いて語ろう ～コロナと歩む共生社会の実現 に向けて～
3月	全国身体障害者 施設協議会経営 セミナー	全国身体障害者施 設協議会 千代田区	施設長 事務長	2人	1日	令和6年度報酬改定について考 える
3月	佐賀県社会福祉 法人経営青年会総 会・研修会	佐賀県社会福祉法 人経営青年会 佐賀市	生活相談係長 事務員	2人	1日	九州ブロックセミナーについて

XIV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。